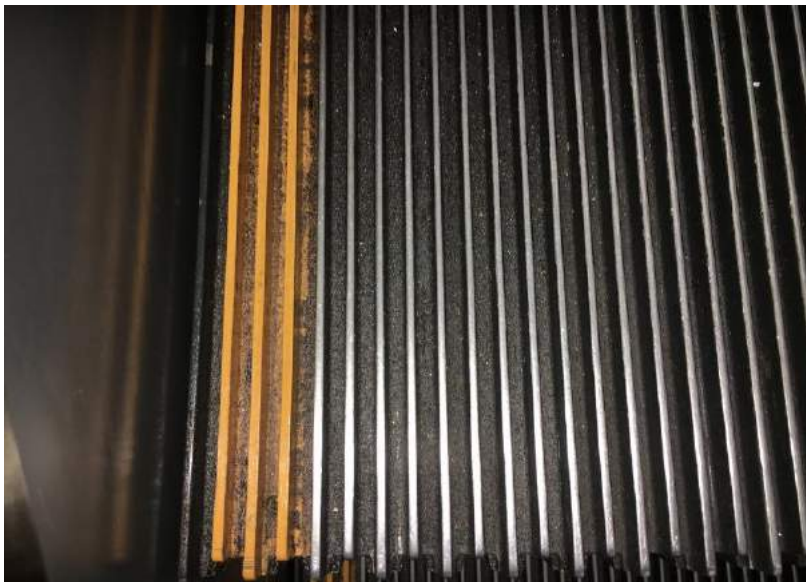




設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000	
設置から20年以上経過	
長い歴史のある百貨店の2人乗り用のエスカレーター。溝の底には長年蓄積した油と埃が混ざってできたスラッジ汚れが、酸化して真っ黒になって汚れていた。	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000	
5段階評価 汚れランク E	
黄色いデマケーションラインには、エスカレーター駆動部のグリース油と埃が混ざり、酸化して真っ黒に汚れたスラッジとなって蓄積している。	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製 V-1000	
清掃前	
黄色いデマケーションラインは、利用客の巻き込みを防止するための注意喚起のラインだが、汚れている為、その本来の役割を果たせていない。これでは、利用客にとって、危険な状態である。	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
	三菱製
	V-1000
	清掃前
<p>ステップ中央部。比較的汚れが少ないはずだが、こちらも埃と油が混ざってできたスラッジ汚れが蓄積している。地金部分は、ほとんど汚れのせいで溝底が全く見えない。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
	三菱製
	V-1000
	清掃前
<p>清掃をしないまま放置していると、スラッジ汚れがどんどん蓄積して、時間が経つと頑固にこびり付いていき、清掃が困難になる。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
	三菱製
	V-1000
	清掃前
<p>溝の底を1本1本手作業で清掃をすると、ワンステップ当り約30分ほどかかり(汚れ具合等により異なる)、60段ステップを清掃すると、約30時間もかかり、膨大な時間を必要とする。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000	
清掃前	
<p>ステップ中央部で特に汚れが蓄積している箇所。溝の底に見える白っぽい汚れが乾いた埃汚れである。</p>	



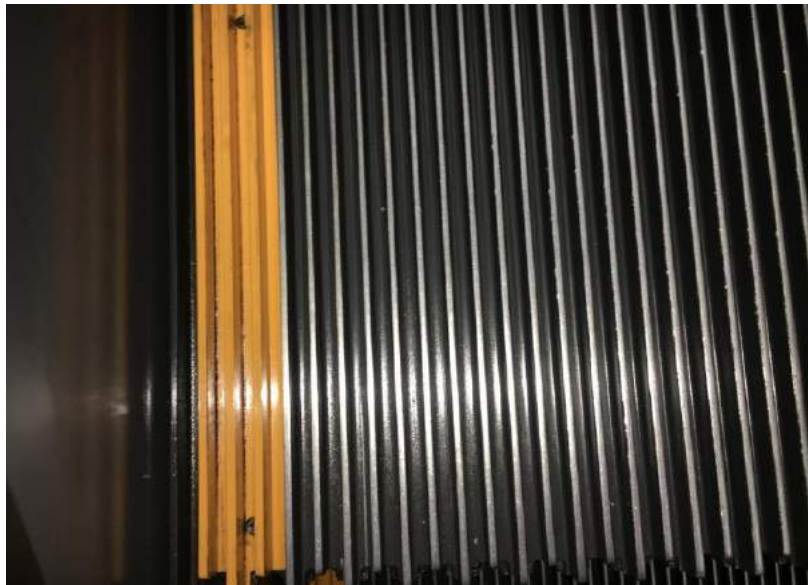
設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000	
清掃中	
<p>最初にドライの埃取作業を実施。溝の底に蓄積している埃や油汚れをドライ(洗浄液を使わない)で取り除きます。写真のように真っ白なデバイスの上に埃が舞い上がって蓄積している。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製 V-1000	
クリーニングパッド6本使用	
<p>パッドを6本使用して清掃完了とする。最初の1~3本目は埃取のドライ清掃。10倍希釈した洗浄液を20噴霧(汚れている箇所を撒いたら残りは全体的に噴霧する)。次に洗浄液を馴染ませて清掃するセミドライ清掃。最後に仕上げのドライ清掃を2本。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000	
清掃後	
<p>清掃前と明らかに違う。真っ黒な汚れが取り除かれ、美しく輝くエスカレーターが姿を見せた。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000	
清掃後	
<p>黄色いデマケーションラインに蓄積していた油汚れであるスラッジも、見事に取り除かれた。ステップが美しいと、まるで施設全体がリニューアルしたかのような印象を与えてくれる。</p>	



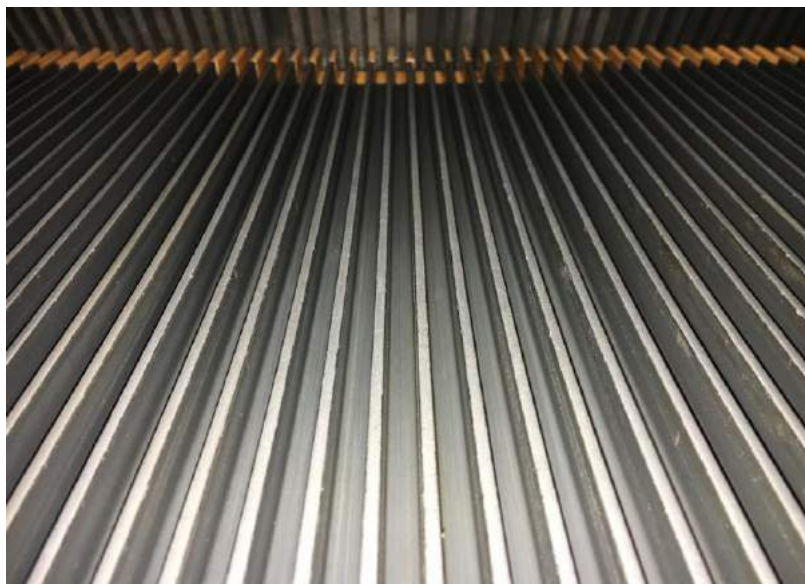
設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000	
清掃後	
<p>ステップ中央部に蓄積していた汚れも跡形もなくキレイに取り除かれている。黄色いデマケーションラインも、地金本来の色もハッキリと鮮明になった。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製 V-1000	
清掃後	
<p>巻き込み防止である黄色いデマケーションラインの本来の目的も、清掃したことでしっかりと果たされている。今後は、1ヵ月(もしくは2ヵ月)に1回の定期清掃/セミドライ清掃1本(5分清掃)を繰り返していくことでキレイな状態を維持できる。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000	
清掃後	
<p>わずかに残ってしまった汚れも、定期清掃を繰り返し実施する事で、確実に取り除かれていく。定期清掃は、クリーニングパッドに10倍希釈の洗浄液を馴染ませて清掃するセミドライ清掃1本/5分間清掃で完了する。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000	
清掃後	
<p>リセット清掃後は1台/5分の定期清掃(セミドライ清掃)を月1回もしくは隔月1回清掃を繰り返すことで5年経過しても10年経過しても美しく輝くエスカレーターを維持することができる。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000 V1ナロータイプ	
ライザー清掃前	
<p>エスカレーターの縦面(ライザー)の清掃。サイドは油汚れがべったりとこびり付いている。長年清掃をしていない為、埃と油が混ざって酸化してしまい、真っ黒に汚れている。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000 V1ナロータイプ	
ライザー清掃前	
<p>ステップ中央部のライザー。ライザーの下の方に乾いた埃がこびりついている。手作業では中々手が届かない箇所であり、清掃が難しい箇所である。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000 V1ナロータイプ	
ライザー清掃前	
<p>反対側の再度のライザー。こちら壁側の部分が酸化して真っ黒な油汚れが目立っている。更にこのまま清掃しないでいると、この油汚れに埃が付着してどんどん蓄積していく。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製 V-1000 V1ナロータイプ	
ライザー清掃後	
RENライザー清掃は、エスカレーターを止めた状態で清掃をする。ライザー洗浄液(原液使用)を、スプレーの開口を広い設定で吹きかけ、ライザーブラシで洗浄液を伸ばしながら汚れをかき出し、最後にライザーパッドで残った汚れを拭き取って、清掃完了。清掃前の油汚れが取り除かれ、溝底がキレイに見える。	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000 V1ナロータイプ	
ライザー清掃後	
中央部の下の方にこびり付いていた埃汚れも見事に取り除かれた。手が届きにくい所もライザーパッドを使用して清掃すると、このようにキレイに仕上げることができる。	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1F-B2F 下り(東館)
三菱製	
V-1000 V1ナロータイプ	
ライザー清掃後	
ライザーは一度リセット清掃をした後、定期的にステップ清掃を継続する事で、汚れが付きにくくなり、ライザー清掃の頻度が少なくて済む。	